

様式第11号(第9条関係)

実績報告書

平成18年 2月27日

市川市長

団体名 クリエイティブの会
代表者名 秋葉 成子
所在地 市川市市川1-18-3
電話 047(326)6427

平成17年6月21日付け 市川第2005616-0041号をもって交付決定のあった市川市市民活動団体支援金に係る実績報告について、市川市納税者が選択する市民活動団体への支援に関する条例第15条第1項の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 403,273円
2. 交付決定額 96,900円
3. 添付書類
 - (1) 支援決定事業収支決算書(様式第12号)
 - (2) その他市長が必要と認める書類



支 援 決 定 事 業 収 支 決 算 書

事業の名称: 夏期ワークショップ

1. 【収 入】

(単位: 円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
積立金	176,000	会員1,000円×16人×11ヶ月
	10,000	会員1,000円×1人×10ヶ月
参加費	100,000	一般参加者5,000円×20人
お弁当代	19,920	参加者、通訳及びボランティア
補助金収入	96,900	市川市市民活動団体支援費
寄付金	453	
合 計	403,273	

2. 【支 出】

(単位: 円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
講師謝金	330,000	招聘元ミュージックカンパニーへ(イギリス在住の
講師滞在費	19,440	宿泊費 講師を招聘)
人件費	20,000	通訳謝金
お弁当代	19,920	参加者、通訳及びボランティア
	3,499	講師、通訳及びボランティア
事業消耗品	6,534	ビデオテープ代
	3,565	プリンターインク、録音用MD、 印刷用紙、マジック、ボールペン
雑費	315	振り込み手数料
合 計	403,273	

※ 領収書を添付してください。

[事業報告書]

事業の名称	夏期ワークショップ
実施時期 実施場所等	平成17年7月23/24日(土・日) 市川市立養護学校 講堂
事業内容 (目的・経過等)	<p>○会を発足するきっかけとなったヴォルフガング・シュタンゲ氏を招いて2日間にわたるワークショップを開催した。</p> <p>(目的)</p> <p>○障害児・者の余暇活動の充実と、かかわりの少ない一般の人たちが、一緒に身体を使った表現活動をとおして理解を深めていってほしい。また、会の活性化を図り、より楽しく余暇活動が展開できるように願って行った。</p> <p>(経過)</p> <p>(1日目) 障害のある人たちの疲労を考え、午前中は一般の人たちや会員の大人が、お互いを知るワークショップを行い、堅さを取ることからはじめた。食事をしながらも、互いに話をしながら打ち解けだした。午後は、障害のある人たちと一緒に行ったが、会のメンバーは活動内容に慣れていることもあり、スムーズに活動に入れた。また、グルーピングの時には、会のメンバーが入ることで、障害のある人たちへの説明や一般の人達がかかわるときのアドバイスをすることができた。</p> <p>(2日目) 前日同様、午前中は大人だけのワークショップを行った。大人だけだと「恥ずかしい」という気持ちが先に立ったり、頭で考えがちであったりして、なかなか身体が動かないようであった。午後、障害のある人たちは、昨日会った気に入った人の側へ寄り寄り、挨拶をしたりして、積極的に交流していた。活動の中でも手をつないだり、自分から動いたりして、活動をリードする場面も見られた。</p> <p>○二日間を通して、ぎこちなかった関係が、お互いの表情が軟らかくなり声を掛け合い話をするこも見られるようになり、笑顔が増え、ほんわかとしたよい雰囲気の中で終えることができた。</p>
事業結果 (成果・課題等)	<p>(成果)</p> <p>○市の1%支援プレゼンテーションを活用したことで、会に興味を持ってくださる人がボランティアとして参加したり、他の会の活動との出会いがあり連絡を取り合うようになったりした。</p> <p>○夏期ワークショップに参加したことから、会に新たに参加する人があったり、他の会の活動にも参加する人が出てきたりした。</p> <p>(課題)</p> <p>○会のメンバーが成長するに従って活動内容がマンネリ化してきている。活性化という点で新たなメンバーが必要である。また、新たなメンバーが入ることでボランティアの手も必要となってくる。一過性のものでなく、普段から会の活動内容をアピールしていくことが必要であると考える。</p>